

全国学校ギター合奏コンクール2016 審査講評

14. 桃山学院中学校高等学校クラシックギタークラブ

課題曲 Spring 1 "In the forest"

自由曲 交響曲第1番より第4楽章／L.ベートーヴェン(井上昌彦編) <指揮者:井上昌彦>

審査員名	課題曲	自由曲
有馬	今年の4月にギターを始められた方もおられるのではないかしら？聴いたこともない曲をよく練習されましたね。特に中学生にとっては大変なことではないでしょうか？でもとてもきれいな演奏でした。	この大人数で、オーケストラ曲によくぞ挑戦したと思います。十六分音符大変でしたでしょう。ベートーヴェンの1番のシンフォニーは若い頃作られたものですが、結構その頃おしかえの作曲家がカツラを付けて雇い主のために作った時代、彼は独立して誰の世話にもならず作曲していたので難しいことにも挑んだんだと思いますが、あなた方はよくこなしてそれをうまく表現したと思います。
小胎	音色○。各声部バランス良い。ダイナミクス巾良。	音色○。細かい部分よく弾いている。全体のバランス良い。Pの作り方が良い。
小林	ていねいなバランス良い演奏。音量の変化、pとf、クレッシェンド変化◎	音量バランス、pとf、クレッシェンド・デクレッシェンド表現◎。メリハリのある演奏で、スケールの大きさを無理なく表現。弱奏のていねいさが良い方向に向かっている。大変上品な仕上がりになっている。
富田	指揮者は落ち着いてあとから出たほうがよいでしょう。構え方がいろいろですが、理由があるのですか？	拍の頭がよく見えないので、そこを意識されてみてはいかがでしょう？
竹内	ややゆっくりめにテンポをとり、一音一音を丁寧に弾いていた。まれにバスギターが飛び出るなどのアンバランスもありましたが、全体に緊張感のあるよい演奏だった。	ベートーヴェンやモーツァルトの交響曲という、古典の最高の完成度をもつ作品をギターアンサンブルで子供たちに体験させたいという姿勢をまず評価したい。いろいろな音色をギターという楽器の中でうまく散りばめていたと思う。フレーズの切り方をもう少し丁寧にするとより好感をもてたと思う。
長尾	pとfの対比よく出来ている。低音深いタッチで全体を包み込むような表現を。右手のタッチを工夫して。全体の構成はまずまず。	指はよく回っている。ダイナミックレンジを広くして。上品にまとまりすぎの印象。アグレッシブな表現がほしい。終わりの和音に気合を込めてあわせてほしい。

【問い合わせ先】

全国学校ギター合奏コンクール2015開催事務局(現代ギター社内)
Mail : jsgec@jsgec.net